

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2002年放送分\(非公開\)](#) > 7月13日放送分 改革に向けた第一歩！

7月13日放送分 改革に向けた第一歩！

13日(TX・TVO)

14日(TVA・TVH・TVQ・RCC)

15日(BSJ)放送

7月は浴衣が似合う季節。その浴衣の伝統的な手染め染色法「注染」で知られる一大産地が静岡県浜松市。その浜松で創業以来、一貫して寝装品・浴衣など繊維製品の企画・製造・販売を行ってきた中村(株)(資本金6,000万円、従業員17名)は、伝統と革新を融合させた独自の戦略を積極的に展開している。繊維業界の厳しい状況の中で、産地の再生と大きな局面を迎えている同社の経営戦略を紹介する。

[視聴覚教材No. TV14-15](#)
[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)

改革に向けた第一歩！

ゆかたメーカーの取り組み



「中村(株)水野社長」

社長に就任して一年。今までの古い体質、古い考え方を一掃したいと語る水野社長。

繊維業界を知らない人間だからこそ、思い切ったことをやって欲しいと語る会長。



「息子である水野社長に経営を託した前社長
(現会長)」



「注染を見つめる志垣さん」

浜松は、浴衣の伝統的な手染め染色法
「注染(ちゅうせん)」で知られる一大産地
である。高度な職人技が要求される。

(株)曳馬染工場の岡田専務(左端)と、織
維業界の現状と今後の活路を見出そうと
話が弾む。



「浜松市内を散策する志垣さん」

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN